

暁

- AKATSUKI -

Vol.7
R8.6.15発行



挑戦

- 千代田らしさを、わたしらしく -



この課、なんの課？ 気になる課！

企画課

職員数

職員数 11 名(常勤職員11名)
(内訳)課長2名、係長2名、係員7名

なんと(?)課長まで含め
平均年齢32歳！
自称、庁内一若い部署です！

ほか、6月から昨年度の職員提案制度の受賞提案の提案者3名が
兼務で企画課のメンバーとなりました。
提案実現に向けて、3名と一緒に取り組んでいきます！

企画課って何してるの？

企画課は、ひとことで言うと「**区政全体の縁の下**の力持ち」。
企画課長と企画調整担当課長のもと、企画係というひとつのチームで、
区政全般のマネジメントの補佐を担っています。

と言ってもイメージしにくいと思いますが、具体的には、「基本構想」
「行政評価」「組織目標管理」「首脳会議」「参画と協働」など、直接事業
を持つというよりは、**各部の事業が円滑に進むようサポートする役割**
を担っています。(私たちはみなさんの味方です！困ったときはいつでも
ご相談ください😊)

また、今年度からは特に、**部を跨ぐテーマに積極的に関わることで、
各所管課とともに、区政全体を力強く前に進めていく企画課**となる
よう、「挑戦」の精神で日々課題に向き合っています。

そして、「組織変革プロジェクト」として、**職員一人ひとりが動きやすく、
やりがいや成長を感じられる職場づくり**にも力を入れています。

この庁内報「暁」の発行も、その一環です！



覗いてみよう、企画課の仕事！

企画課は企画係の1係体制。

業務ごとにラインの課長・係長が変わるのが特徴で、**課内のあらゆる
メンバーとタッグを組み合わせながら、チームで仕事を進めています！**
担当業務も毎年変わるので、覚えることは多いですが、その分
幅広い仕事に関わり、様々な経験ができるのも企画課ならではの。
ここからは、その業務の一部をご紹介します！

首脳会議・組織目標管理

区の実現を確実に前へ進めるため、各部の組織目標の進捗管理を
行う「レビュー」や「組織目標管理レク」といった会議を運営しています。
区の基本方針や重要施策を審議・決定する場である「**首脳会議**」の
事務局も担い、資料調整やスケジュール管理など、会議がスムーズに
進むよう、裏方として支えています。

基本構想

千代田区には、多くの自治体では策定されている「基本
計画」が実はありません。第4次基本構想のもと、毎年「**将来像に向けた方向性と取組み**」を策定していま
す。予算の概要に
掲載しているアレ
です！基本構想担
当は、その策定に
関する調整等を
主に行っています。

〇〇〇〇

◆趣味/互助会の軽音楽部
所属、ドラム1年生。6/26の
ライブ見にきてください！
◆マイブーム/仮面ライ
ダーアギト、ONEPIECEのブ
ルック



参画と協働の推進

〇〇〇〇

◆趣味/旅行、登山、
犬、季節の花を見る
◆今年の目標/猫背
を治す



区の計画や施策について
区民の声をお聴きする
「パブリックコメント」や、
区と民間団体が手を取り
合って課題解決に挑む
「**公民協働推進制度**」の運
用を行っています。

指定管理者制度

〇〇〇〇

区立施設の管理運
営に、民間事業者等
の力を活かす「**指定
管理者制度**」につい
て、制度の適切な運
用を図りつつ、施設
所管課による円滑
な運営を支援して
います。

◆趣味/将棋、
外出、猫
◆今年の目標/
エスニック料理
に挑戦する、キ
ングダム全巻買
い揃える



予算編成方針



次年度予算の方向性を示す「**予算編成方針**」も、実は
企画課で作っています。担当は、5月頃にはもう翌年
度のことで頭がいっぱいに…(笑)令和8年度予算の
キャッチコピー「**今日の声を、明日のかたちにする予
算**」も、予算編成方針担当が頭を悩ませ、関係部署や
区長のご意見も伺いながら、(生成AIの力も借りて)
まとめました。皆さんの印象はいかがでしたでしょうか？

そのほか、職員のアイデアを提案として受け付ける「**職員提案制度**」
の事務局、各分野の基礎データをまとめた「**行政基礎資料集**」の作成
など、幅広い業務があります。

今年度の企画課は、一味違うかも！？

令和8年度から企画調整担当課長も加わり、**組織横断的な課題に
積極的に関わっています。**(ごみ・ねずみ対策、情報リテラシー、
自動運転、アップサイクルetc…)

部を超えた連携を後押ししながら、新たなテーマの検討や施策の
方向性整理など**企画課のその名のとおり「企画調整」の役割を
ぐっと強化すべく、課一丸となって前向きに(時には必死に！?)
挑戦中です！**

また、企画課の職員は各々担当業務を持ちつつ、**それぞれが
“部担当”として担当部を持ち、各部の組織目標の達成に向けた
サポートも行っています。**部内や課内でお困りごとがあれば、
いつでもお気軽に部担当へご連絡ください！

職員4人でホンネ座談会！

企画課って、普段どんなことをしているの？「企画」って何？そんな疑問にお答えすべく、今回は、企画課歴2～5年目の職員4名で座談会を行い、ざっくばらんに語ってもらいました！

Q1. 企画課ってどんな部署？

Aさん 庁内の多くの部署と関わりますが、電話や窓口での区民対応はほとんどなく、区民の方との距離は遠い部署かもしれません。

Bさん 首脳会議をはじめとした会議準備やスケジュール調整など、いわゆる「ロジ周り」の仕事も実はたっぷりあります。

Q2. 課の雰囲気は？

Cさん 令和6年度から、課長・係長・係員みんな「さん付け」で呼び合っています。始めは少し慣れませんでした。今ではすっかり「〇〇さん呼び」が定着。また、6階のワークプレイス変革に先行して、課長席を廃止し、フリーアドレスを導入していた効果もあり、役職関係なくフラットで話しやすい雰囲気なのは間違いありません。

Aさん 毎年事務分担が変わるので、前任者に進め方を相談する機会も多く、自然と会話が生まれます。明るく和気あいあい、でも必要なときはしっかり話し合える、そんな雰囲気です。



座談会中

Q3. 企画課の良いところは？

Bさん 仕事の進め方やスケジュールを自分で調整できる場面が多く、自分のペースで働きやすいです。関わる部署や人も多いので、自然と顔と名前を覚えられるのも嬉しいところです。

Cさん 首脳会議や組織目標管理レクなど、区長・副区長や部長級の方々が出席する会議に事務局として参加する機会が多いので、区政の進む方向を間近で感じられ、とても勉強になる部署だと感じます。

Dさん 自然と視野が広がっていく環境です。また、何か課題が出てきたときには、みんなで議論して解決策を探していく、そんな雰囲気があるのも企画課の良いところです。



課内ミーティングの様子

Q4. 企画課のやりがい？

Dさん 正解がない課題に向き合う機会も少なくないですが、だからこそ、みんなで考えて方向性がまとまったときは、大変さ以上にやりがいを感じます。

Cさん 調整業務が多いので、目に見えて形に残る成果は他の部署より少ないかもしれませんが、それでも、状況を整理したことで議論が一段進んだり、検討が次のステップに進み出した瞬間には、やりがいを感じます。土台をつくり、長期的な成果を支える——そんな役割を果たせるよう、日々精進中です！

Q5. 最近企画課でよく飛び交う言葉は？

1位:「〇〇さん(企画課長)はどこ？」

会議や調整で庁内外を駆け回り、自席にいないこともしばしば(今年度から人事計画担当課長も兼務しているので尚更)。気付けばいつも誰かが企画課長を探している—今の企画課を象徴する一言です(笑)

2位:「全体像」

組織横断的なテーマへの関わりが増えたことで「全体としてどうなっているか」を意識したやりとりが日常的に。各部の視点を繋ぎながら、全体整理の役割を果たせるよう、励んでいます！

3位:「ごみ対策・ねずみ対策」

意外に思った方もいるかもしれませんが、間違いなく最近の企画課のホットワード。秋葉原のごみ対策やねずみ対策など、各部のみなさんの支えに少しでもなれるよう、企画課も試行錯誤で取り組んでいます。

これ、頑張りました！最近のお仕事

「行政基礎資料集」の作成

昨年度、入庁1年目で担当。冊子として形に残る達成感があり、区のデータを広く知る貴重な機会にもなりました。(Aさん)



情報リテラシーの推進

基礎自治体での前例がほとんどない中で、有識者の方々と意見交換を重ね、情報リテラシー(誤った情報に惑わされず、正確な情報を見極め活用する力)の推進の方向性を整理しました。今年度から具体的な取組みが始まり、スタートラインに立てた、という手応えを感じました。(Dさん)

国の交付金を活用した「物価高騰対策」支援メニューの検討

11月の閣議決定を受け、年内予算化が求められるという非常にタイトなスケジュールでしたが、自然とみんなで助け合って課全体で取り組む——そんな企画課らしさで、課内一丸となって状況整理やアイデア出しを行いメニューを検討。お隣の財政課や、コミュニティ総務課をはじめとした関係部署の皆様にも助けていただきながら、なんとか年内の予算化にこぎ着けました。(Cさん)

〇〇〇〇

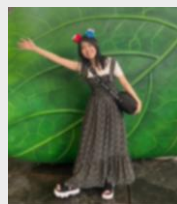
Staff Profile

◆趣味

ダンス(メインはHiphop)、海外旅行

◆休日の過ごし方

ダンスのレッスンに通ったり、漫画を読んだりしています。おすすめはONE PIECEです！



〇〇〇〇

◆趣味 海外旅行と映画。ホラー映画もよく見ます。最近は長めの海外ドラマを見始めました。

◆今年の目標

ペーパードライバー卒業。ドラム式洗濯機を買い替えて貯金。野球観戦を趣味にする。(友人に連れて行ってもらった観戦をもっと楽しめるように。)



〇〇〇〇

◆趣味 音楽

◆今年の目標

ハリウッドスターシリーズを読み終えて、映画も見終えること



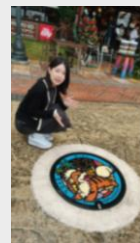
〇〇〇〇

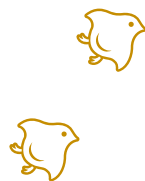
◆休日

ゲーム、旅行(沖縄・韓国に行きがち)

◆好きな飲み物

コーヒー





挑戦

千代田らしさを、わたしらしく

こんなことをやってみたい、こういう働き方をしてみたい。

「挑戦—千代田らしさを、わたしらしく—」は、こうした職員の声から生まれました。

このパーパスは、組織の一体感をもたらすための「合言葉」として、千代田区職員共通の価値観を持って働いていきたいという思いが込められています。

社会や地域の課題が日々変化する中においても、職員一人ひとりが果敢に取り組み、部門を越えて協力していくことが大きな成果を生み、それが区民の幸せにつながります。

そして、そこで得た達成感や充実感が、職員のさらなる行動意欲となります。

職員が相互に理解・称賛し合い、やりがいを持って挑戦できる組織文化をつくっていきましょう。



まずは最初の「一歩」から

「挑戦」とは、新しい事業を始めることだけではありません。事業の見直しや業務の改善、無意識のうちにやっている小さな工夫も、すべてが挑戦です。それらが積み重なって、個人から周囲の職員、そして組織全体へと波及し、大きな変化を生み出します。



千代田区で働くことを「誇り」に

「千代田らしさ」とは、1,700を超える基礎自治体の中で、千代田区ならではの価値や可能性を追求する姿勢です。この地域で働くことに誇りを持ち、職場に対する帰属意識やまちに対する愛着を育むことが、千代田らしさを形づくりします。



一人ひとりが「主役」に

「わたしらしく」とは、職員一人ひとりが主役であるということです。現代の多様な価値観や働き方を尊重し、働きやすく、職員が大切にされる環境の中で、自分の持てる力を存分に発揮できることが、千代田区の力になります。

